

2022年1月20日

各 位

会 社 名 株式会社テノ・ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 池内 比呂子
(コード番号：7037 東証第一部・福証)
問合せ先 取締役 吉野 晴彦
(TEL. 092-263-3550)

特別利益（補助金収入）及び特別損失（固定資産圧縮損）の計上に関するお知らせ

当社グループは、2021年12月期第4四半期において、下記のとおり特別利益（補助金収入）及び特別損失（固定資産圧縮損）を計上いたしますので、お知らせいたします。

1. 特別利益及び特別損失の内容

(1) 当社の連結子会社、株式会社テノ・コーポレーションは2021年10月に下記の認可保育所を新規開設し運営を開始いたしました。

・認可保育所 ほっぺるランド佃大橋 東京都中央区

(2) 特別利益について

当社の連結子会社、株式会社テノ・コーポレーションが2021年10月に認可保育所を新規開設し運営を開始いたしました。上記保育所に係る補助金の交付に伴い、「補助金収入」として見込額231,943千円を特別利益に計上する予定であります。

(3) 特別損失について

上記の補助金の交付に伴い、圧縮記帳する会計処理を適用し、固定資産圧縮損として見込額231,943千円を特別損失に計上する予定であります。

注) 新たに保育所等の施設を開設した場合、その開設費用の一部に対し、自治体から補助金の交付を受ける場合があります。当社グループでは、自治体から受け取る補助金の会計処理について、固定資産圧縮損を計上し、対象となる固定資産の帳簿価額を直接減額し、毎期の減価償却も減額後の額をもとに計上する「直接減額方式」を会計方針として採用しております。その他、認められる他の会計方針としては、補助金を営業外収益に一括計上し、固定資産は補助金控除前の帳簿価額で計上する「剰余金処分方式」があり

ます。「直接減額方式」を採用する場合と比較すると「剰余金処分方式」は、新たに保育所を開園した事業年度において、補助金が一時的な収益として計上される一方、売上原価に計上される減価償却費は「直接減額方式」に比べ大きくなります。

2. 業績に与える影響について

本件が2021年12月期の業績に与える影響につきましては、2021年10月19日に発表いたしました業績予想に織り込み済みであります。

なお、今後の進捗状況等により、業績に影響を与える事象が発生した場合には、速やかに開示いたします。

以 上